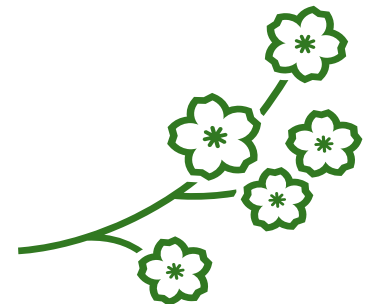




新渡戸カレッジ入校説明会

開催時間 16:30~17:30

- 1 新渡戸カレッジの概要 (LA FAY Michelle 副校長)
- 2 グローバル基礎科目について (内田 治子 准教授)
- 3 新渡戸カレッジの先輩からメッセージ
- 4 質疑応答





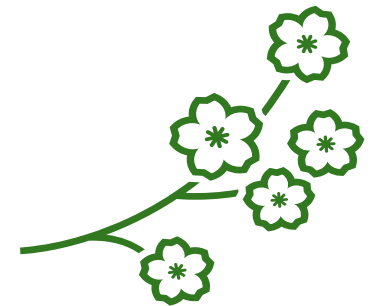
Hokkaido University
Nitobe College

対象:学部1年生

新渡戸カレッジ入校説明会

開催時間 16:30~17:30

- 1 新渡戸カレッジの概要 (LA FAY Michelle 副校長)
- 2 グローバル基礎科目について (内田 治子 准教授)
- 3 新渡戸カレッジの先輩からメッセージ
- 4 質疑応答





HOKKAIDO
UNIVERSITY

令和8年度 第1回

新渡戸カレッジ入校説明会

オーナーズプログラム 学部カリキュラム



Hokkaido University
Nitobe College

新渡戸カレッジ 副校長

LA FAY Michelle

こんにちは。**Michelle La Fay**と申します。**2025年度から新渡戸カレッジの副校長になりました。今日の新渡戸カレッジ入校説明会に来ていただいてありがとうございます。**

わたしも北海道大学で**10年間勉強しました。研究生2年、修士課程2年、博士後期課程6年で2003年に卒業しました。専門は宗教学で当時文学研究科(現在文学研究院)で内村鑑三を研究しました。**

説明会を始める前に、大学での勉強について少しお話しておきます。



子どもによく聞く質問は・・・

何になりたい？

しかし、この質問はある人を決めた枠組みに入れることになります。

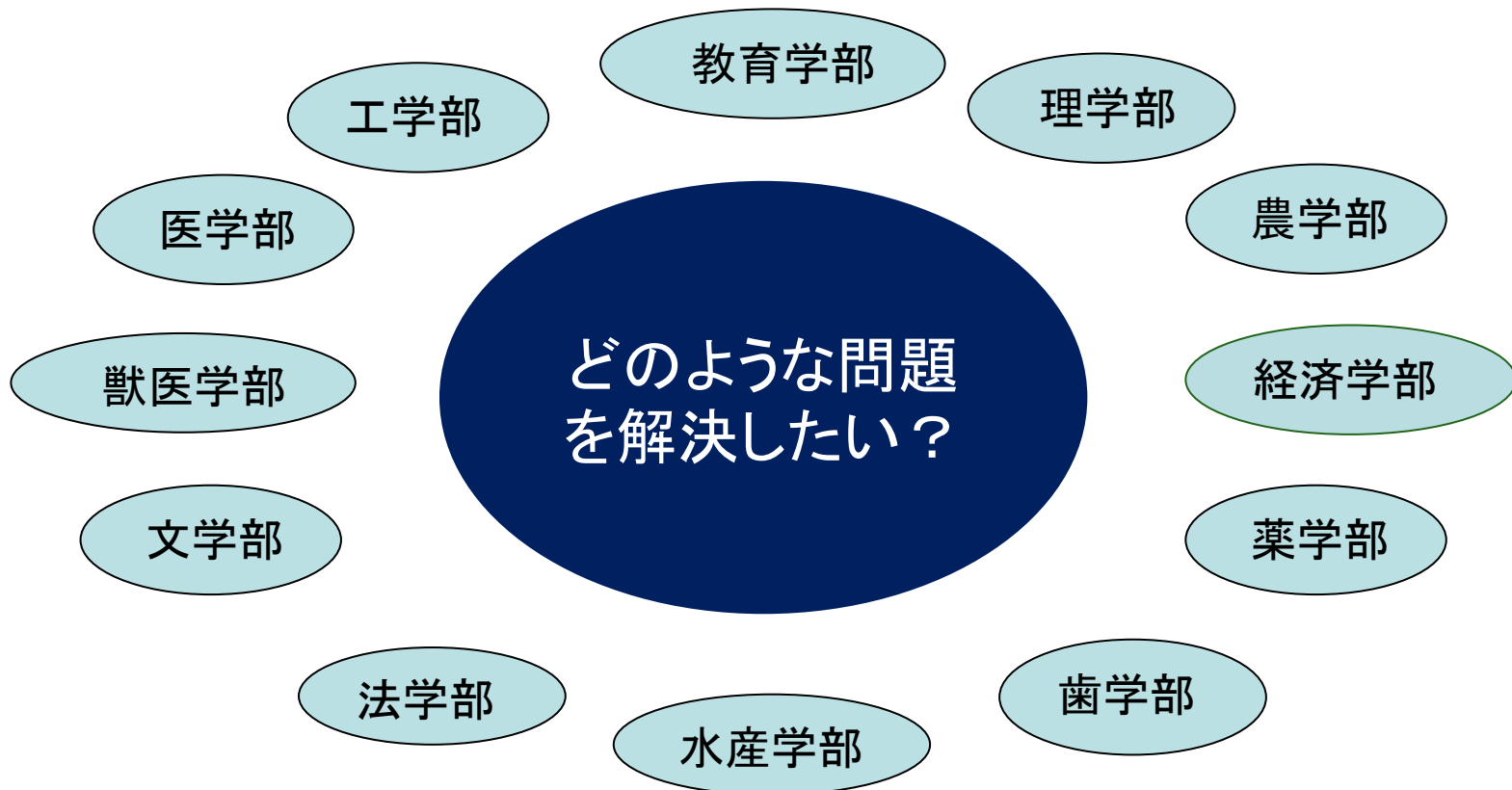
北大の総長、宝金総長は、私たち全員に、世界が直面している難問題を解決することを呼び掛けています。しかし、一人で世界の難問題を解決することはなかなかできることではありません。異なる分野の人々がそれぞれ独自のアプローチで問題解決に取り組み、その力を結集することで変化をもたらすことができる。宗教学の研究者である私一人で、世界の問題を解決できることはほとんどない。しかし、他の分野の人々と協力すれば、平等や差別の問題を解決する手助けができるかもしれない。

訊くべき質問は・・・

どのような問題を解決したいですか。



さまざまな分野の人が
それぞれ独自のアプローチで問題の解決方法を考え、
その力を結集することで変化をもたらすことができます。



自分はどうのような問題を解決したいかを考えてみてください。

新渡戸カレッジは横断的な交流の場、問題の議論、そしてさまざまな思考方法を発見するチャンスを全学部の学生に与えます。

チームワークで、意見の違いを調整し、他者との接し方を学ぶことができます。生涯使えるスキルであります。

しかし、簡単ではありません。新渡戸カレッジの修了までには、多大な時間と努力を要します。どのような大学生活を送りたいについて、難しい決断をすることになるかもしれません。

最終的には、新渡戸カレッジに入校志望の学生は、そういった試練を乗り越えて、社会に貢献し、世界の問題を一緒に解決していこうとする人になることを望んでいます。



Nitobe College



学部1年次学生



令和8年度後期(10月)から

新渡戸カレッジ (オーナーズプログラム) への入校希望者



- (1) 新渡戸稲造と新渡戸カレッジ
- (2) 新渡戸カレッジの教育プログラム
 - プレプログラム
 - オナーズプログラム
 - フェロー・メンター制度
- (3) 新渡戸カレッジの入校と修了
- (4) お知らせ





新渡戸稲造・宮部金吾・内村鑑三

- 1862年～1933年 盛岡出身
- 札幌農学校 第二期生
- 東京大学進学

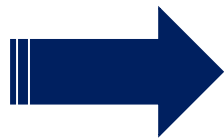
青雲の志

「太平洋の橋になりたい」

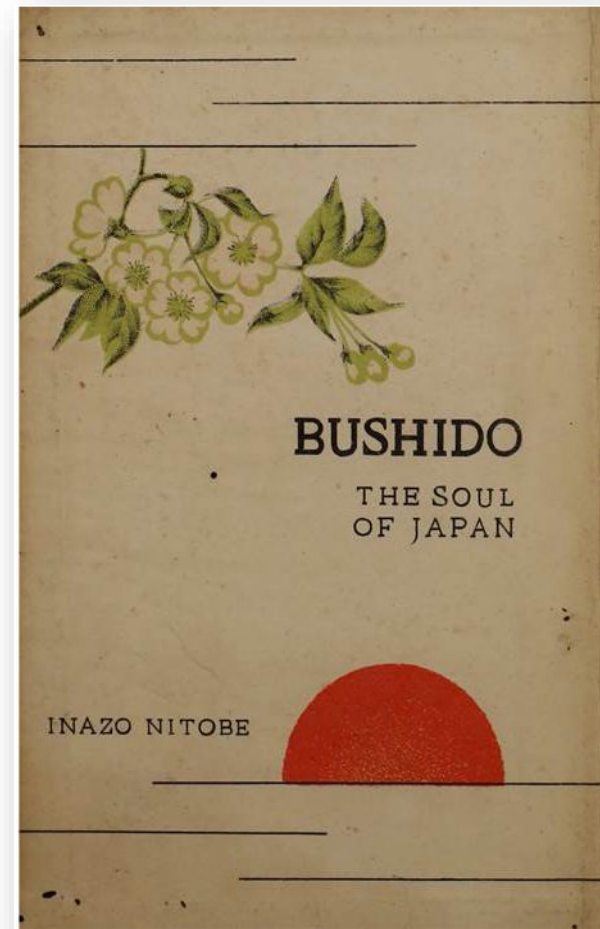
- アメリカ・ドイツ留学



- 札幌農学校 教授
- 東京帝国大学 教授
- 『武士道』の出版
- 国際連盟事務次長



国際人



➤ 「国際社会」から「グローバル世界」へ



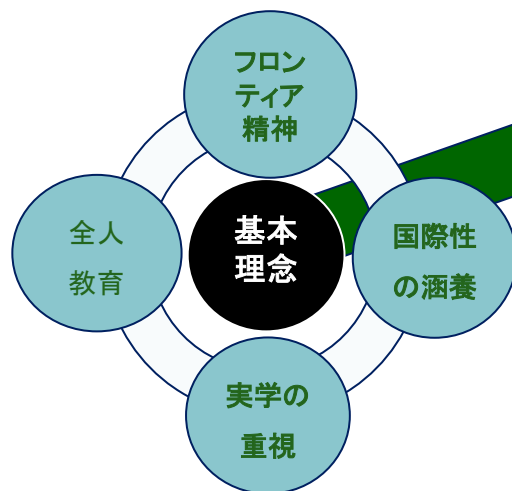
➤ 2013年 新たな教育プログラム
新渡戸カレッジ 創設



新渡戸カレッジの教育方針

北海道大学の基本理念

1. フロンティア精神
2. 国際性の涵養
3. 全人教育
4. 実学の重視



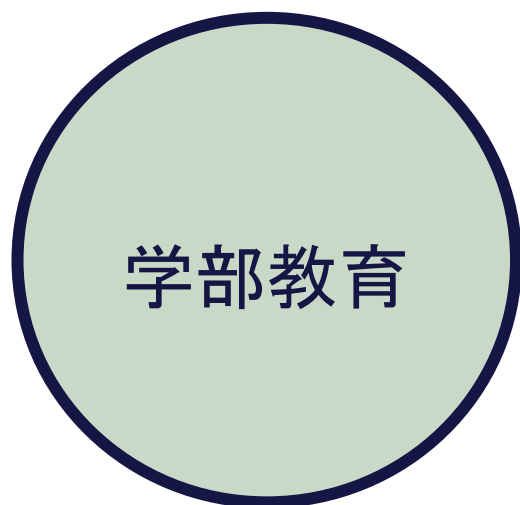
新渡戸稲造 3つの精神



グローバルリーダー
Global Leaders

- ① 各国・各地域間の架け橋となるべき「国際的精神の涵養」
- ② 深い専門性の探究に加えて「幅広い一般的教養の修得」
- ③ 社会的リーダーにともなう義務「ノブレス・オブリージュの遂行」

新渡戸カレッジの教育



12学部の専門教育

+



新渡戸カレッジで学ぶ
「スキル」と「マインド」



グローバルリーダー
Global leaders

| 7 |

新渡戸カレッジで身につける「5つの力」

- ① **自己成長力**
(自律的な個人の確立に向けて、継続的に精励する力)
- ② **コミュニケーション力**
(外国語運用能力を含む、高いコミュニケーション力)
- ③ **多文化理解力**
(文化的背景の異なる他者の考えを理解し、尊重する力)
- ④ **課題解決力**
(さまざまな課題に対して、周囲との協働により解決を図る力)
- ⑤ **社会的倫理観**
(社会的役割を認識し、責任感・倫理観をもって行動する力)



入校前

1年前期

期間:半年

プレプログラム
(準備期間)

入校後

1年後期～卒業

期間:3年半～5年半

オーナーズプログラム
(新渡戸カレッジ生)



■ 前期 必修科目

➤ グローバル基礎科目

(国際理解と海外留学)

前期 春ターム 金曜5・6講時

さまざまな海外留学体験を聴き、自身の留学を考え、国際社会に対する視野を広げる授業

➤ グローバル基礎科目

(リーダーシップとチームワーク)

前期 夏ターム 金曜5・6講時

リーダーシップとチームワークを考えるグループワーク中心の授業



グローバル基礎科目の最初授業は4月10日(金)です。必ず出席してください。



■前期 推奨科目

➤ 留学支援英語

英語を母語話者とする講師による
少人数実践英語クラス

※オナーズプログラム必修科目



オナーズプログラム入校のための必須要件ではないですが
「海外留学」前に履修・修得することを強く推奨します。



■ 選択科目 (オナーズプログラム修了単位に算入される)

➤ 大学と社会 (全学教育科目/総合科目)

先輩から学生に対する経験談と熱いメッセージの授業

➤ フィールド型演習 (全学教育科目/一般教育演習)

約20名の少人数クラスの体験型演習

➤ 多文化交流科目 (全学教育科目/一般教育演習)

日本語による留学生と日本人学生との協働学習

➤ 国際交流科目 (全学教育科目/学部専門科目等)

英語による留学生と日本人学生との協働学習



■後期 必修科目

➤ 新渡戸学(フェローゼミ)

(後期 10月～12月 基本 土曜実施)

フェローの指導のもと、現地視察により課題を発見し、グループワークを通して、課題の解決をはかり、プレゼンテーション発表する。



■ 必修科目「海外留学」

➤ 長期留学プログラム(交換留学)

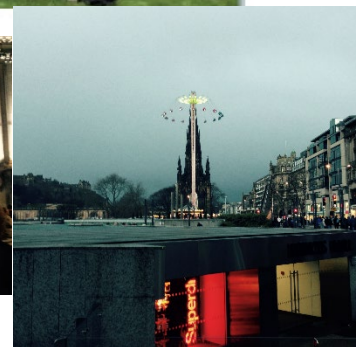
交流協定校(約200校)への1年未満の留学



➤ 短期留学プログラム

◇ 学部専門レベル短期留学

学部等が独自に開発し、単位認定するプログラム



➤ 奨学金制度

北海道大学フロンティア基金からの支援



■ 選択科目

➤ 新渡戸学(セルフキャリア発展ゼミ)

自分自身を見つめ、自らの未来を構築する力を養い、次世代に必要とされる創造力を磨く。合宿の研修を含む。



■フェロー

北大同窓生を中心に、
新渡戸カレッジ生の理解者・助言者・教育者として、
それぞれの自律的な成長を見守り、支える役割を担う。
現在12名。



- **第2回入校説明会** (7月27日(月) 18:15～19:30 SKY HALL)
- **入校申請** (7月28日(火)～8月7日(金))
 - ・ グローバル基礎科目2科目各1単位、計2単位の取得
 - ・ 英語能力水準の充足 (TOEFL-iBT 61点=TOEFL-ITP 500点相当以上)
 - ・ 課題レポートの提出
- **入校生発表** (9月18日(金)予定)
- **入校式** (10月3日(土))
 - ・ 新渡戸学(フェローゼミ)開始



➤ 毎年度 在籍確認 (12月中旬～1月中旬) ※入校年度を除く

- ・ 振り返りレポートの提出
- ・ 英語テストスコアの提出

➤ 修了要件

- ・ 所属学部で卒業の認定を受けること
- ・ 学部カリキュラムに沿って、必修科目4単位以上、選択科目5単位以上、計9単位以上を修得すること

➤ 修了式 (3月下旬)



➤ 称号の授与

修了者のうち、
「英語スコア」「通算GPA」の条件を充たした者に
①②③の称号を授与する

- ① 新渡戸カレッジ Summa cum Laude
- ② 新渡戸カレッジ Magna cum Laude
- ③ 新渡戸カレッジ Cum Laude

また、上記以外の者に④の称号を授与する

- ④ 新渡戸カレッジ Associate



新渡戸稲造から学ぶべき精神に沿って新渡戸カレッジ生とは、
こうした新渡戸カレッジの趣旨をよく理解した上で、
入校申請を行ってください。

新渡戸稲造の精神

❖ 各国・各地域間の架け橋となるべき
国際的精神の涵養

❖ 深い専門性の探究に加えて
幅広い一般的教養の修得

❖ 社会的リーダーにともなう義務
ノブレス・オブリージュの遂行

❖ 今後、**グローバル社会**でリーダーとして生き抜く人たちになります。専門的な知識に加えて、英語能力の向上と海外留学だけではなく、さらに**リーダーシップとチームワーク**というスキルと身につけることを目指します。

❖ これからの**社会と大学**に貢献を考える人になることを目指します。本学から特別の経費を受けるとともに、本学同窓生や社会からの寄付を得て運営されています。

❖ 海外留学やフェローとの交流などの機会が得られる一方で、新渡戸カレッジ科目の単位修得や各行事への出席などを**社会的リーダーの一つの義務**として取り組んでください。



「高い志」をもった北大生のみなさんの

新渡戸カレッジへの入校を

教職員一同 心待ちにしています



Hokkaido University
Nitobe College



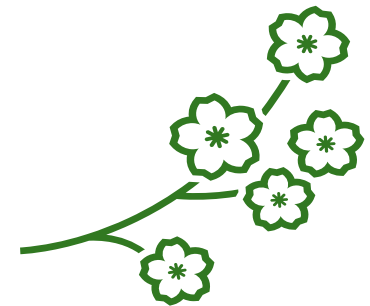
HOKKAIDO UNIVERSITY



新渡戸カレッジ入校説明会

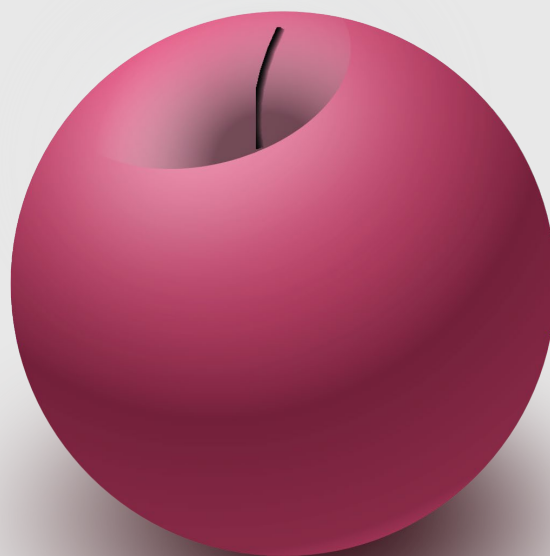
開催時間 16:30~17:30

- 1 新渡戸カレッジの概要 (LA FAY Michelle 副校長)
- 2 グローバル基礎科目について (内田 治子 准教授)
- 3 新渡戸カレッジの先輩からメッセージ
- 4 質疑応答



2026年度

グローバル基礎科目



春・夏タームに開講

カレッジ入校希望者は**両方**を受講してください

4

SUN	MON	TUE	WED	TUR	FRI	SAT
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

5

SUN	MON	TUE	WED	TUR	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

6

SUN	MON	TUE	WED	TUR	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

7

SUN	MON	TUE	WED	TUR	FRI	SAT
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

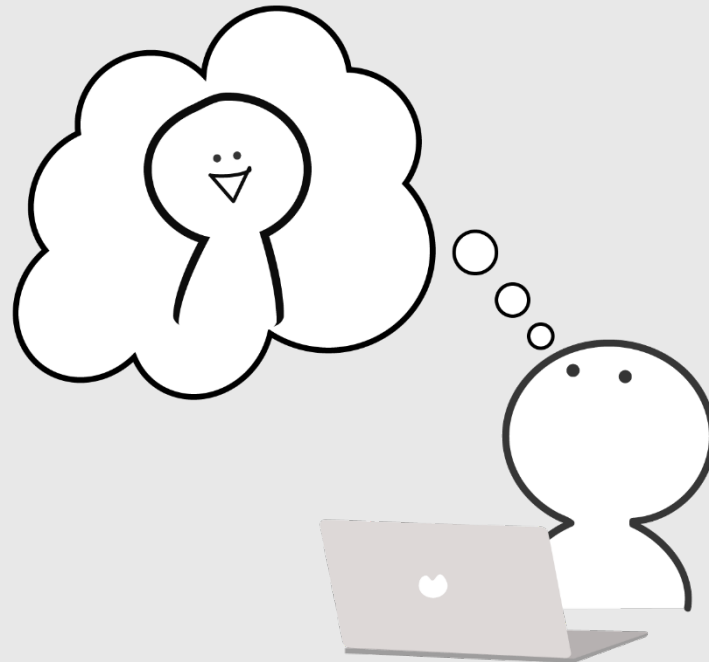
春 国際理解と海外留学

夏 リーダーシップとチームワーク

春ターム

国際理解と海外留学

講義を聴いて、自分にとっての留学の目的と意義を考える





リーダーシップとチームワーク

グループで課題に取り組む



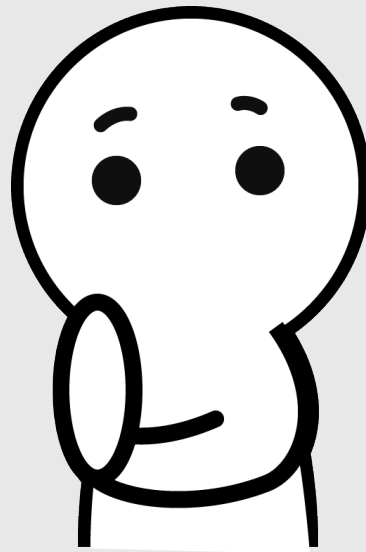
特徴 1



主体的・計画的に考え、行動する力
学びの経験を振り返って評価する力

国際的な視野
留学

キャリアデザイン
学修計画



リーダーシップ
チームワーク
グループワーク
プレゼンテーション

特徴2

チューター制度

コアチューターとチューターがサポートします



新渡戸カレッジ ウェブサイト

学部カリキュラム ▶ 授業科目紹介（学部）



入校・履修の手引き

- 入校要件 p. 3
- 履修に関するQ&A p. 38

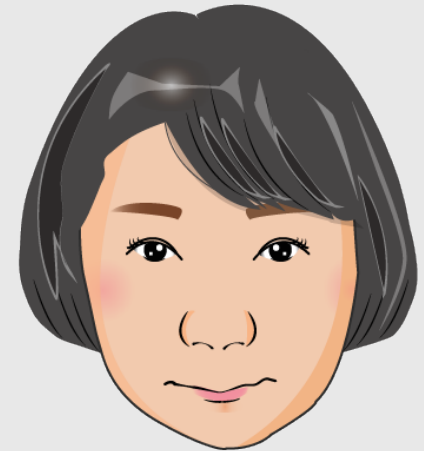


問い合わせ先

新渡戸カレッジ相談先

2026年度入校・履修の手引き (p. 34)

- 新渡戸カレッジ全般について：新渡戸カレッジ担当（学部）
総合教育棟1F ⑥窓口
- グローバル基礎科目について：内田
ucd-hrk@high.hokudai.ac.jp

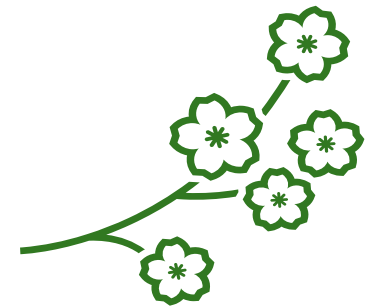




新渡戸カレッジ入校説明会

開催時間 16:30~17:30

- 1 新渡戸カレッジの概要 (LA FAY Michelle 副校長)
- 2 グローバル基礎科目について (内田 治子 准教授)
- 3 新渡戸カレッジの先輩からメッセージ
- 4 質疑応答





新渡戸カレッジ入校説明会

開催時間 16:30~17:30

- 1 新渡戸カレッジの概要 (LA FAY Michelle 副校長)
- 2 グローバル基礎科目について (内田 治子 准教授)
- 3 新渡戸カレッジの先輩からメッセージ
- 4 質疑応答

